MASPRO

UHFアンテナ（家庭用）

取扱説明書

UHF ANTENNAS
UHF ch.13～52

U146（14エレメント）DH

U206 弱電界地域用（20エレメント）DH

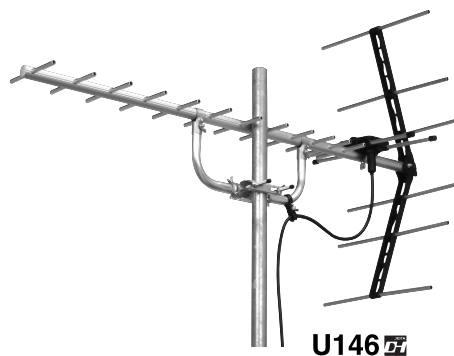
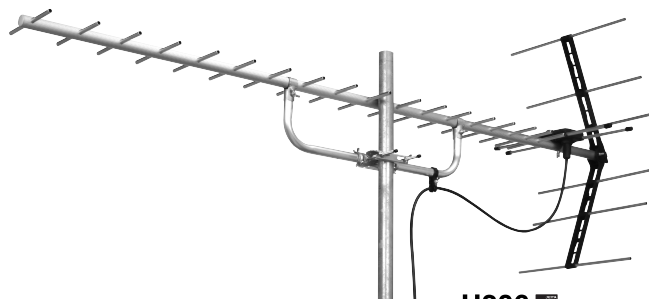
75Ω用（F型端子）

水平・垂直偏波用

●電波の著しく弱い場所では受信できません。
●障害物があり、見通しの悪い場所では受信できないことがあります。

U146

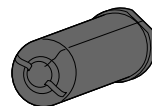
このアンテナに接続ケーブルは付属していません。
必要な長さの75Ωケーブルをお買求めください。

MASter of PROduction 生産の覇者

目次

ページ

付属品 ………………………… 1
安全上のご注意 ………………… 2
各部の名称 ……………………… 2
設置例 …………………………… 3
アンテナを設置する
1. コーナーリフレクターを広げます…………… 3
2. ビームダイポールを取付けます …………… 3
3. 支持ブームを起こします …………… 4
4. ケーブルにF型コネクターを取付けます……… 4
5. アンテナにケーブルを接続します…………… 5
6. アンテナを取付けます……………………… 5
規格表・性能 …………………… 6

U206

付属品

F型コネクター（5Cケーブル用）	防水キャップ
1個	1個

正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

DHマーク（デジタルハイビジョン受信マーク）は、一般社団法人 電子情報技術産業協会で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

安全上のご注意　必ずお読みください

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。

⃠記号は、禁止の行為を示しています。

●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

⚠警告

- 雷が鳴出したら、アンテナ･ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

- 雨降りや強風など、天候の悪い日の屋外での取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。
  また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから注意してください。
- 腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具をそのまま使用しないでください。落下して、人や物などに危害や損害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的に点検してください。

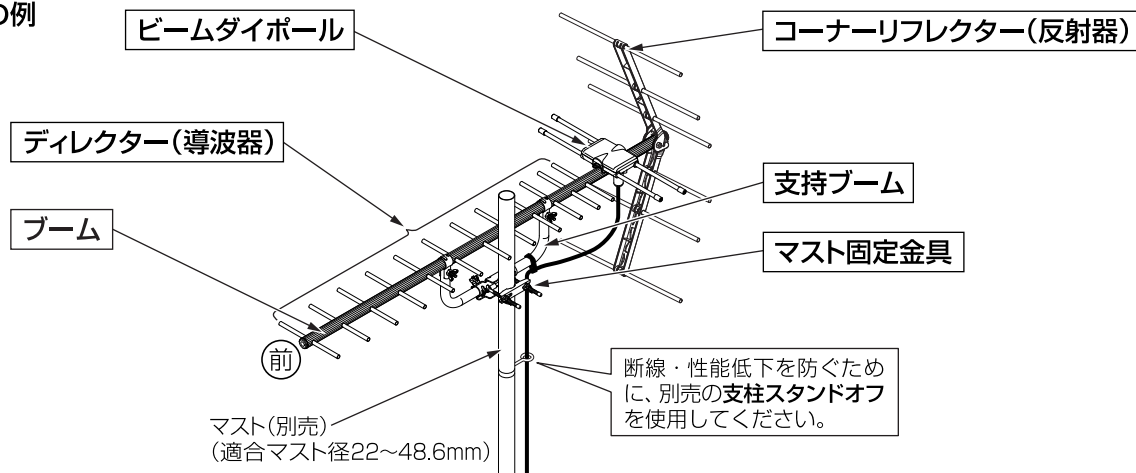
- 高所に取付ける場合、アンテナやアンテナ部品の落下などによって、人や物などに危害や損害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。
- アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具、工具などをヒモで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。

⚠注意

- アンテナの取付け、支線張りなどの作業は、安全確保のため、必ず2人以上で行なってください。
- 高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。
- アンテナや取付金具、マストなどに異常があったり、ビスやボルト･ナットなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は、安全を確保してから、アンテナや取付金具、マストなどを必ず点検してください。アンテナが破損、変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。
- 感電防止のため、アンテナは電線(電灯線、高圧線、電話線など)からできるだけ離れた場所に設置してください。
- テレビやチューナーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行なってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては，感電の原因となることがあります。

- アンテナを高所や屋根に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず販売店にご相談ください。

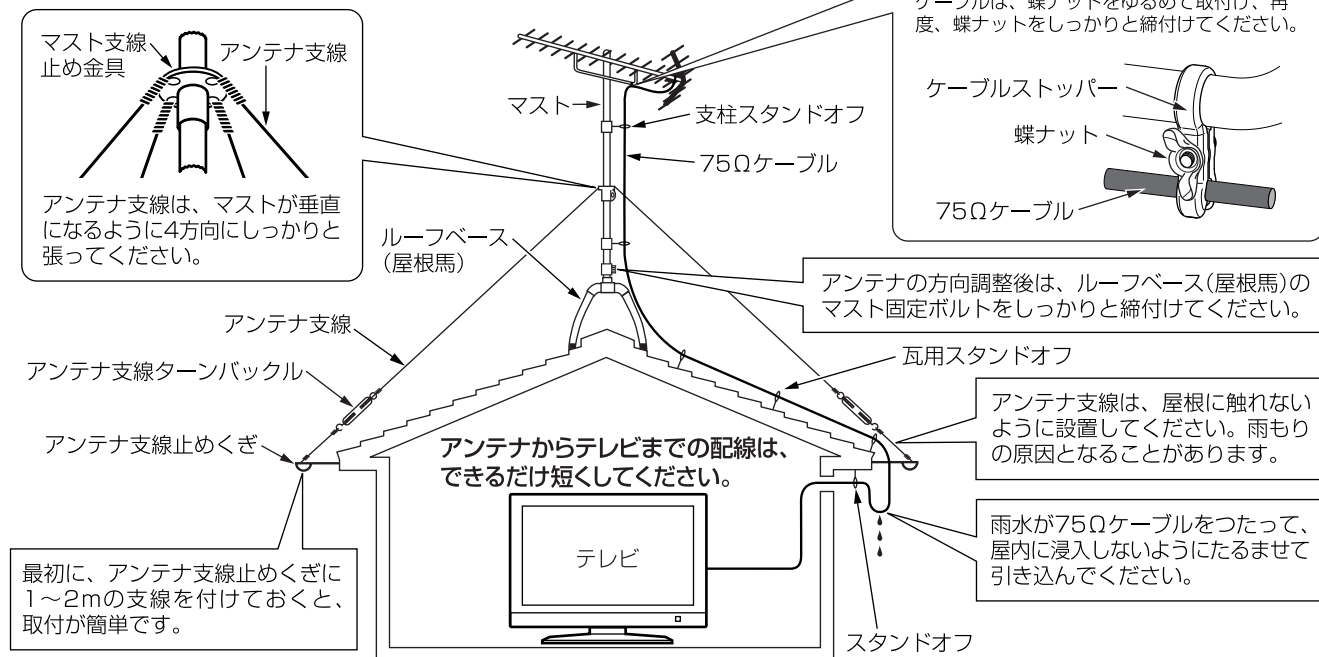
各部の名称

U146の例

設置例

設置場所について

- ●良好な受信をするために、アンテナは高い場所に建ててください。
- ●アンテナの方向は、近所の家に建っているアンテナが目安になります。
- ●アンテナは、雑音の原因となることがあるネオンサインや道路などから、できるだけ離してください。
- ●アンテナは、感電防止のため、電灯線や高圧線などから、できるだけ離して建ててください。
- ●電波をしゃへいするビルや鉄塔などの障害物があると、きれいに映らないことがあります。 映りが悪い場合、アンテナの設置場所や高さ、方向を変えて、各チャンネルともきれいに映る位置を入念にさがしてください。

ご注意

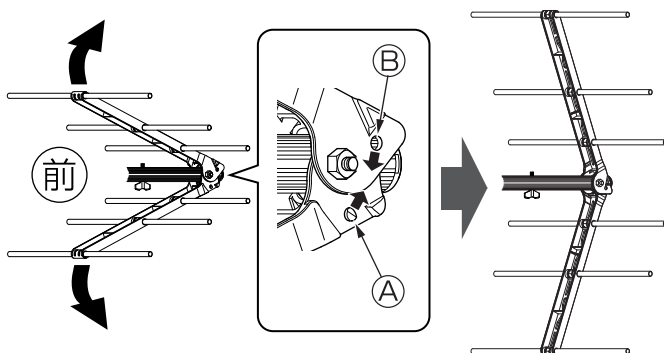
アンテナ·マストは、強風でも倒れないように、しっかりと建ててください。

アンテナを設置する

設置に必要な工具

●スパナ（11mm用）　●カッターナイフ　●ニッパー　●ペンチ

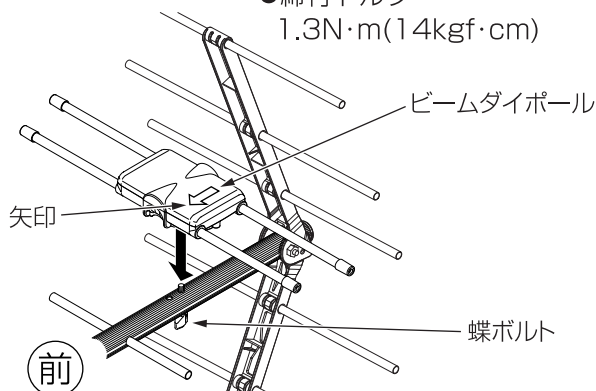
1. コーナーリフレクターを広げます

アンテナ後方に付いているコーナーリフレクターを上下に広げます。

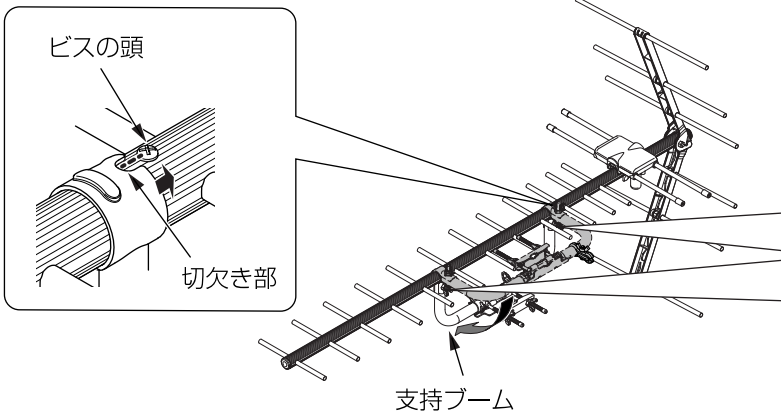
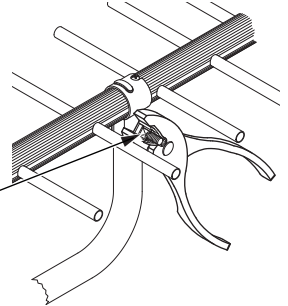
Ⓐの突起がⒷの孔に入り、カチッと音がするまで広げます。

2. ビームダイポールを取付けます

アンテナ後方に付いている蝶ボルトでビームダイポールを取付けます。（矢印⇐を㊞前側にしてください）

蝶ボルトは、指定のトルクでしっかりと締付けます。
●締付トルク
1.3N·m(14kgf·cm)

ビームダイポール
矢印
蝶ボルト
前

アンテナを設置する　つづき

3. 支持ブームを起します

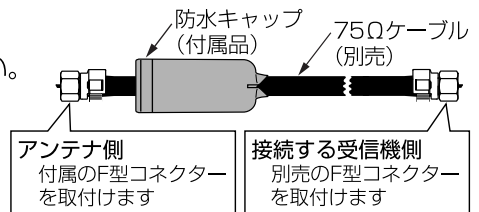
1 支持ブームを９０°起こし、支持ブーム取付金具をずらして金具の切欠き部をブームに取付けてあるビスの頭にはめ込みます。

2 支持ブームの蝶ナット（2か所）を指定のトルクで締付けます。

4. ケーブルにF型コネクターを取付けます

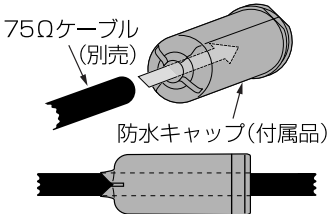
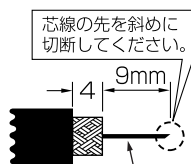
別売の75Ωケーブルに付属のF型コネクターを取付けます。確実に取付けないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

- ●接触不良やショートを防ぐため、コネクターはていねいに取付けてください。
- ●75Ωケーブルは5Cケーブルまたは4Cケーブルをお使いください。
- ●付属のF型コネクターは5Cケーブル用です。4Cケーブルの場合、別売の4Cケーブル用F型コネクターをお使いください。

防水キャップ（付属品）
75Ωケーブル（別売）

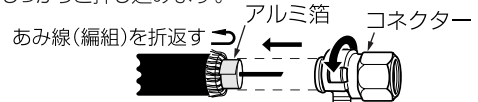
アンテナ側
付属のF型コネクターを取付けます

接続する受信機側
別売のF型コネクターを取付けます

1 ケーブルを付属の防水キャップに通します。

別売の75Ωケーブルで、防水キャップの薄い部分を突き破ります。

2 ケーブルを加工します。（加工寸法は原寸大です）

芯線に白い膜が付いていることがあります。導通を良くするために、必ず取除いてください。

3 コネクターを取付けます。

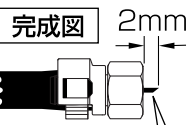
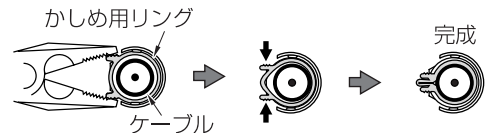
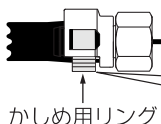
1.あみ線（編組）を折返します。
2.コネクターの内側にアルミ箔が入るように、アルミ箔の巻付けられている方向にコネクターを回しながら、しっかりと押し込みます。

あみ線（編組）を折返す　アルミ箔　コネクター

あみ線・アルミ箔のショートに注意

あみ線（編組）やアルミ箔の切れ端は、取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり、テレビを見られなくなります。

4 かしめ用リングをペンチで圧着します。

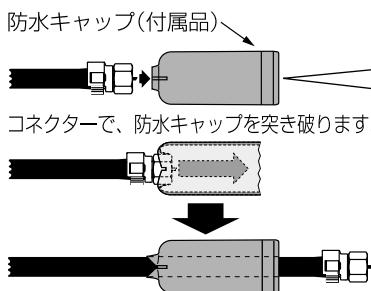
コネクターが抜けないように、しっかりと圧着します。

完成図

芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

芯線が長すぎると、コネクターが破損して機器が故障します。

芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。

✕
○
コネクター取付け後でも防水キャップにケーブルを通せます

⚠注意

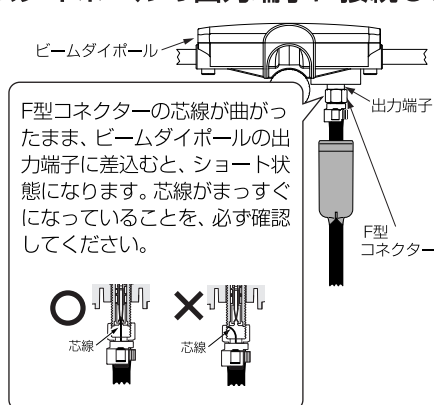
防水キャップを突き破ったときに、コネクターの芯線が目や指にささらないように注意してください。

アンテナを設置する　つづき

5. アンテナにケーブルを接続します

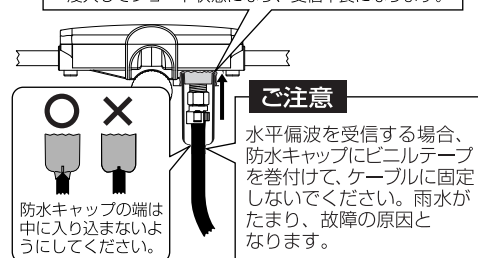
75Ωケーブルをビームダイポールの出力端子に接続します。

1 F型コネクター（防水キャップを通した側）を、ビームダイポールの出力端子に接続し、11mmのスパナで締付けます。
●締付トルク
2N·m
（21kgf·cm）

F型コネクターの芯線が曲がったまま、ビームダイポールの出力端子に差込むと、ショート状態になります。芯線がまっすぐになっていることを、必ず確認してください。

2 防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込みます。

●防水キャップは確実に押し込んでください。
●防水キャップが曲がっていると、雨水がケーブル内に浸入してショート状態になり、受信不良になります。

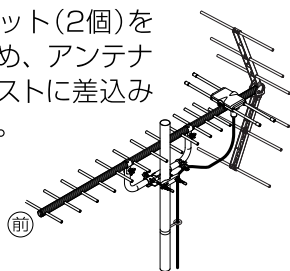
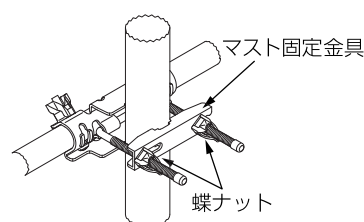
防水キャップの端は中に入り込まないようにしてください。

ご注意
水平偏波を受信する場合、防水キャップにビニルテープを巻付けて、ケーブルに固定しないでください。雨水がたまり、故障の原因となります。

6. アンテナを取付けます

別売のマスト（適合マスト径 φ22 ～ 48.6mm）にアンテナを取付けます。
受信する電波が、水平偏波か垂直偏波かで、取付けるアンテナの向きが変わります。

ご注意
●マストは垂直に建ててください。●マストは強風でも倒れないように、しっかりと建ててください。
●しっかりと取付けるために、支持ブームの蝶ナットは、工具を使用して、指定のトルクで均等に締付けてください。

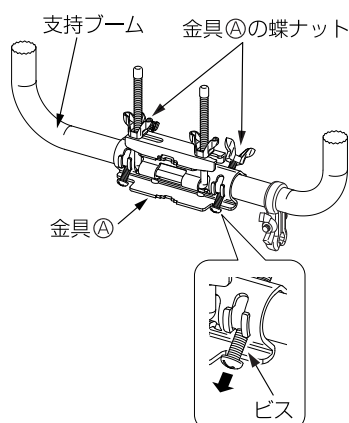
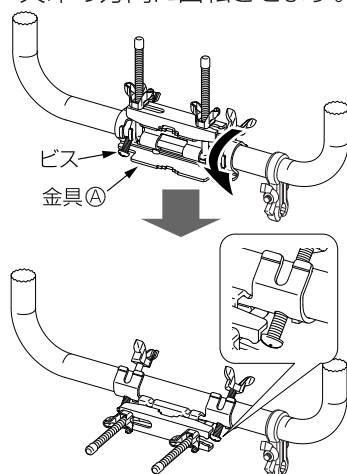
水平偏波を受信する場合

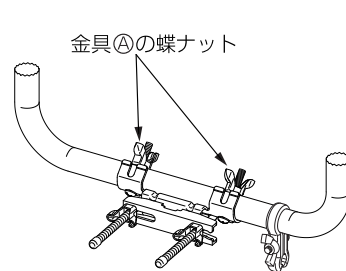
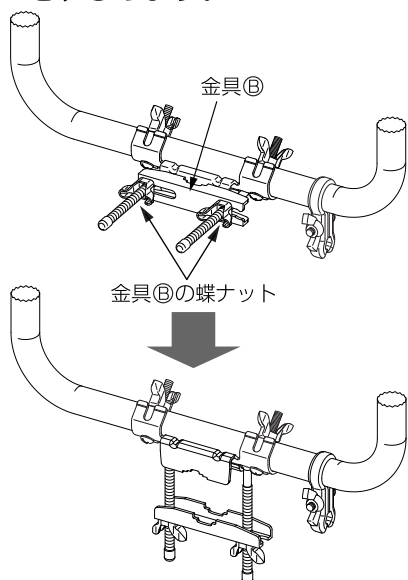
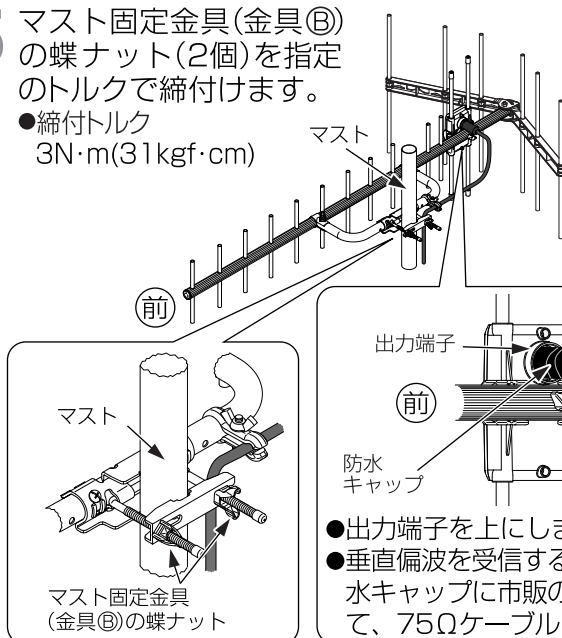
1 マスト固定金具の蝶ナット（2個）をゆるめ、アンテナをマストに差込みます。

2 マスト固定金具の蝶ナット（2個）を指定のトルクで締付けます。
●締付トルク
3N·m(31kgf·cm)

ご注意
●インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。蝶ナットの変形や破損の原因となります。
●2個の蝶ナットは、指定のトルクで均等に締付けてください。

垂直偏波を受信する場合

マスト固定金具の回転　垂直偏波を受信する場合、下記の手順にしたがって、マスト固定金具を回転させてください。

ご注意
マスト固定金具の回転は、アンテナをマストに取付ける前に行なってください。

1 工具で、金具Ⓐの蝶ナットをビスから外れない程度までゆるめて、ビスを押出します。

2 ビスに当たるまで、金具Ⓐを支持ブームに密着させながら、矢印の方向に回転させます。

3 工具で、金具Ⓐの蝶ナットを指定のトルクで均等にしっかりと締付けます。
●締付トルク 1.8N·m(19kgf·cm)

p.6へつづく

4 金具Ⓑの蝶ナット（2個）をゆるめます。

5 マスト固定金具（金具Ⓑ）の蝶ナット（2個）を指定のトルクで締付けます。
●締付トルク
3N·m(31kgf·cm)

●出力端子を上にします。
●垂直偏波を受信する場合、防水のため、防水キャップに市販のビニルテープを巻付けて、75Ωケーブルに固定してください。

規格表・性能

規格表

Specifications

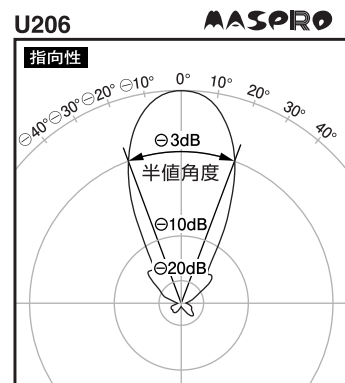
MASPRO

項目 Items	U146	U206
受信チャンネル Reception Channels	ch.13 ～ 52	
エレメント数 Number of Elements	14	20
動作利得（感度） Antenna Gain	8 ～ 12.4dB	8.5 ～ 13.7dB
VSWR Voltage Standing Wave Ratio	2.5以下	
前後比 Front to Back Ratio	18 ～ 28dB	19 ～ 28dB
半値角度 Half Power Beam Width	32 ～ 56°	26 ～ 53°
インピーダンス Impedance	75Ω（F型コネクター）	
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20 ～ ⊕40℃	
適合マスト径 Adaptable Mast Diameter	22 ～ 48.6mm	
外観寸法 Dimensions	1030（L）×373（W）×544（H）mm	1480（L）×373（W）×544（H）mm
質量（重量） Weight	約890g	約1.1kg

性能

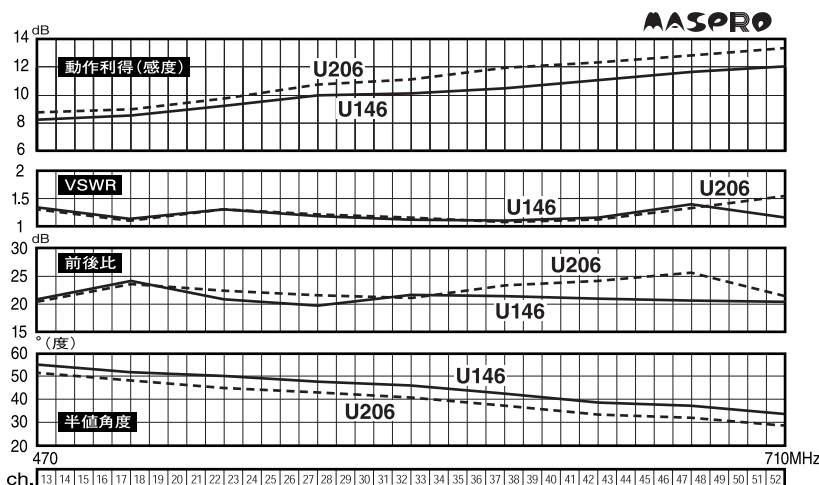
U146 MASPRO

ch.33 半値角度 46°

U206 MASPRO

ch.33 半値角度 41°

マスプロの規格表・性能表に絶対うそはありません。保証します。

MASter of PROduction 生産の覇者

2K56-646

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マスプロ電工

本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町上納80
技術相談

0570-091119 固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP·PHS（ナビダイヤルが利用できない）電話からは 052-805-3366
受付時間 9～12時、13～17時（土・日・祝日、当社休業日を除く）
インターネットホームページ www.maspro.co.jp
技術相談以外は、お近くの支店・営業所にお問合わせください。

支店・営業所

首都圏（シ）(03)3499-5632
西日本（シ）(082)230-2359
中日本（シ）(06)6632-1144
北日本（シ）(022)786-5062

福岡（支）(092)524-7600
沖縄 (098)854-2768
鹿児島 (099)812-1200
宮崎 (0985)25-3877
熊本 (096)381-7626
長崎 (095)864-6001
北九州 (093)941-4026

広島（支）(082)230-2351
下関 (083)255-1130
松江 (0852)21-5341
岡山 (086)252-5800
松山 (089)905-7017
高知 (088)882-0991
高松 (087)865-3666

大阪（支）(06)6635-2222
姫路 (079)234-6669
京都 (075)646-3800

名古屋（支）(052)802-2233
津 (059)234-0261

岐阜 (058)275-0805
豊橋 (0532)33-1500
静岡 (054)283-2220
松本 (0263)57-4625
福井 (0776)23-8153
金沢 (076)249-5301

東京（支）(03)3409-5505
新潟 (025)287-3155
横浜 (045)784-1422
八王子 (042)637-1699
千葉 (043)232-5335
さいたま (048)663-8000
前橋 (027)263-3767

水戸 (029)248-3870
宇都宮 (028)636-1210

仙台（支）(022)786-5060
郡山 (024)952-0095
盛岡 (019)641-1500
秋田 (018)862-7523
青森 (017)742-4227
札幌 (011)782-0711
釧路 (0154)23-8466
旭川 (0166)25-3111

（シ）：システム営業グループ

G-29-5646-1T
SEP., 2012